



**Day
After
Day**

adult only



貴方ね
お嬢様に新しく雇われた
子て

私は十六夜 咲夜
このメイド長をやっているわ



は、はい！

よろしくお願ひします！



お嬢様には
困ったものです

とほひえ...
仕方ありませんね



あーそうそう、咲夜
今度新しい人雇うことになったから

教育よろしくね♡

ファ?!



あ、あの！



ついて来ててください
館の仕事を教えます

は、はい！



最初こそ不安だったものの
教えた仕事は不器用ながら
彼はよくこなしている

美鈴さんさん！
遅れてすいません
昼餉を持ってきました！

うむ

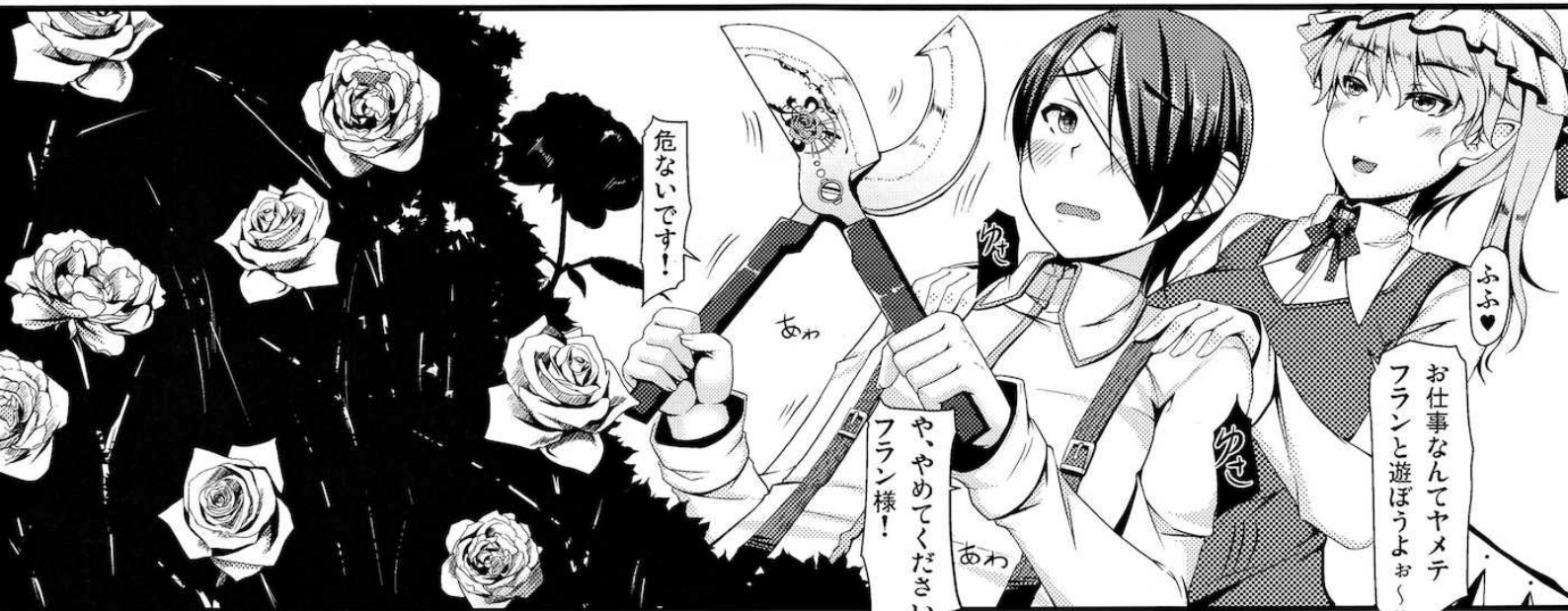


あ、あのパチュリー様

書籍はこっちで
いいんですか？

むぎゅ……

そこをお願い……



お仕事なんてヤメテ
フランと遊ぼうよぉ♡

や、やめてください
フラン様！

危ないです！

ふふ♡



咲夜さん、
こっちのテーブルクロス
敷き終わりました

そうね、

次はあっち側の
頼みますわ

はい！

次室に館に
溶け込んでいった

あの子ちゃんとやってる
みたいね

ええ、
忠実に仕事をこなしています

おかげで
私も仕事が大分楽になりました

そう、
なら彼を拾ってきて正解だったわ



ところで咲夜

はい？

飴と鞭

え？

たまには彼に
飴でもあげたらどうかしら？

飴
■
■

ですか…









咲夜さん！
ちよっと、
ま、まですいですよー！



だから、まですいですよー

ふあ…あああ…



ぬぎ
ちよっとビックリ
しちゃったかしら？



でも、ビックリするのは
まだまだだよ

私もノってきちゃったわ、
最後まで付き合って頂くわよ♥



うう…
い、嫌じゃない…
です…

嫌なら
止めますよ？



まだ
元気そうね♥



一回出したのに…

ふふん♥

さ、咲夜さん



ふふ♥
生まれたての小鹿みたいに
脚腰ガクガク震えちゃって♥

咲夜…さんッ
ああ…ああ

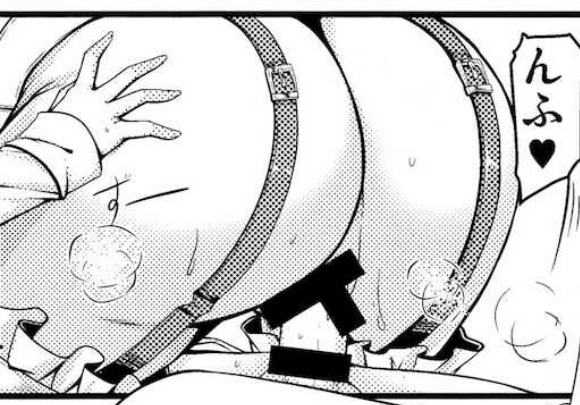
可愛いわね♥

ああ…
咲夜…さん



ほら♥
男の子なんだから
頑張ってみなさい

ふああ…い



んふ♥

ほら貴方に合わせてあげるから
ちゃんと気をしっかりしなさい♥



じゅぽ♥
じゅぽ♥
じゅぽ♥
じゅぽ♥



私... やだ...

本気になって...
つい...
はしたない声を



いいわ
その調子よ



ひいッ!

あ...

ゆっ

ゆっ



咲夜さん...!
気持ちよくて止まらない!!

いいのよ
今日私に甘えても

貴方を
労ってあげる



もう…僕！
出そう！

いいの♡
遠慮しなくていいわ

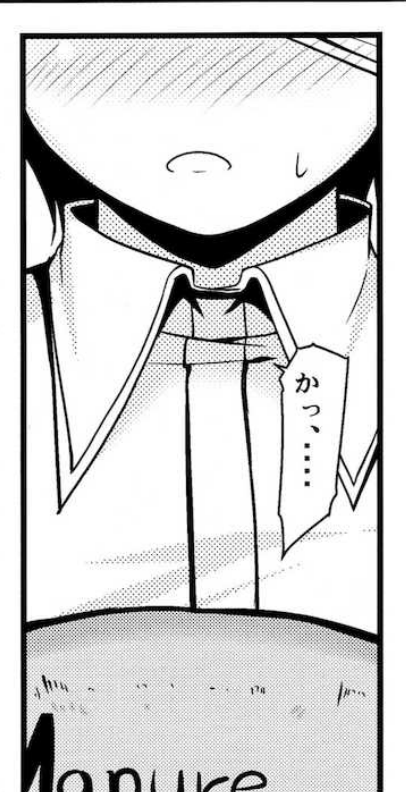
咲夜さん！

咲夜さん！



あ
あ
あ

あ
あ
あ





ふふ、
咲夜なにか
嬉しそう

いえ、……
気のせいです

懐いてるみたいね

よく働いてくれてますよ



できることなら、彼
ずっと館にいてくれる
といいのだけど

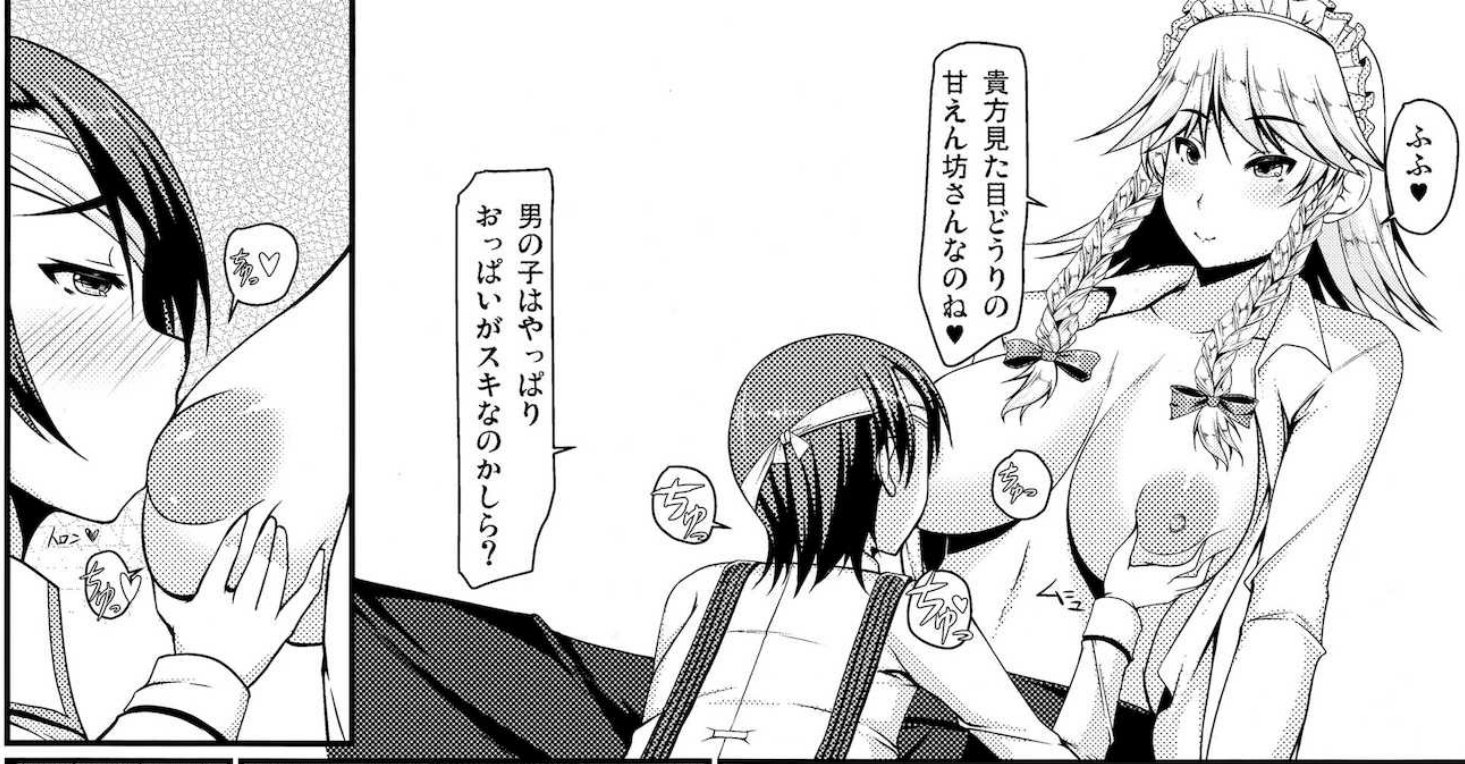
残念ね……

彼の持ち時間は
そろそろ尽きてしまうわ

それまで
仲良くしてあげてね



……



ふふ♡

貴方見た目どりの
甘えん坊さんなのね♡

男の子はやっぱり
おっぱいがスキなのかしら？

ふふ♡

ふふ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡



そうだ、

ま

貴方こっちきて

ふあ?!

ふふ♡



まったく世話の
かかる弟みたいだわ

ふふ♡

よしよし



こうやって挟んでみたけど
どうかしら？

?!

むしゅ♡

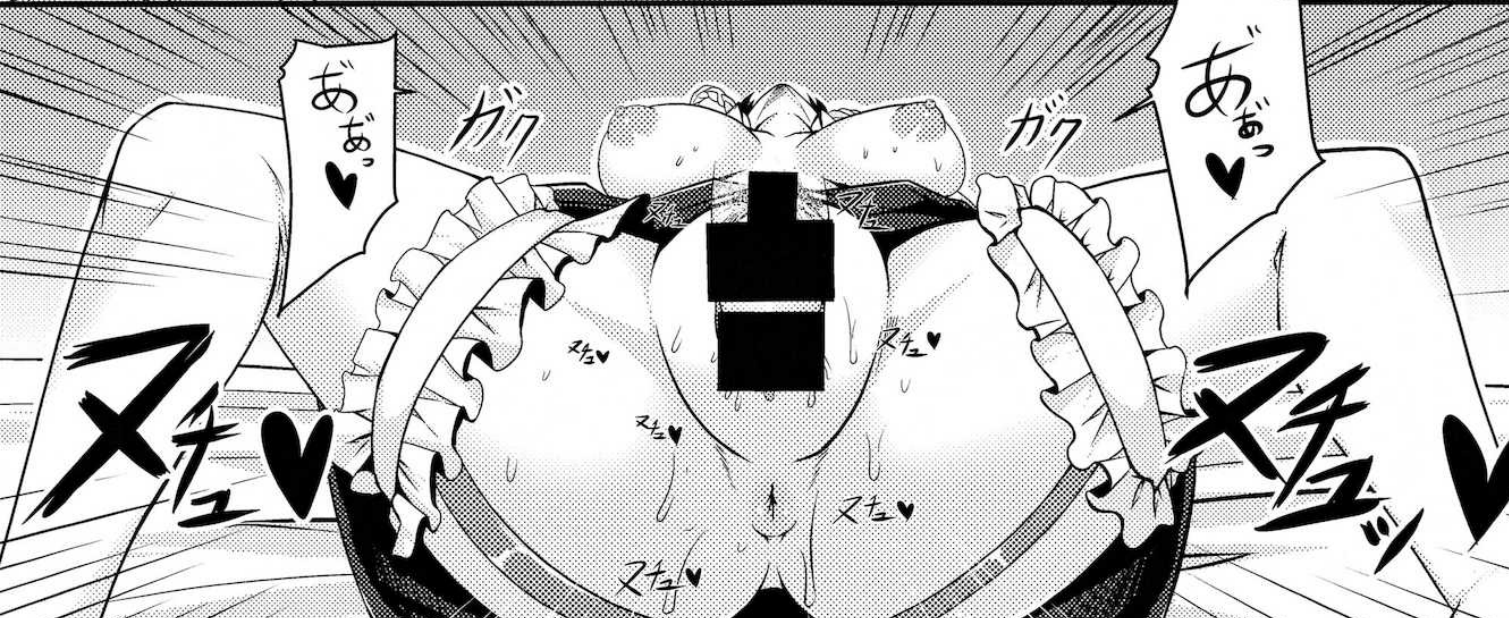
むしゅ♡

むしゅ♡

咲夜さんのふかふかの
胸で挟まれてる…

ふふ♡
なかなかでしょ？







僕！
で、出るー！

咲夜さん！

いじよお♡
来てえっ♡

でちやう……！



ああああっ♡

あああ
ああっ！

はっ♡

もっと咲夜さんと
したい！

はっ♡



咲夜さん……

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ゴッポ
クッ



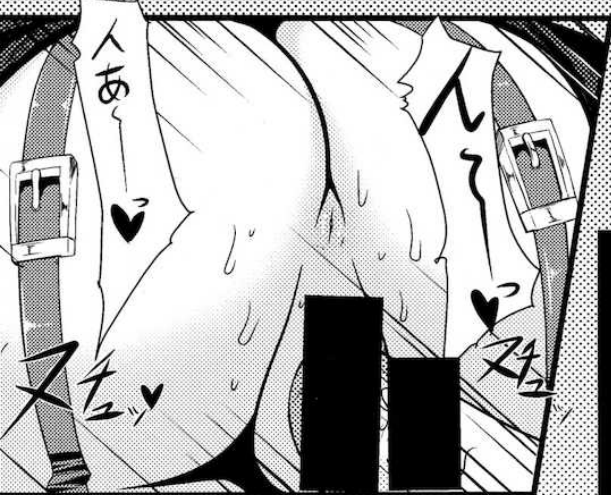
出したばっかなのに
もうギンギンに♡

ほんと貴方は
欲しがり屋ね



仕方ないわね♡
ほらこっちからね

う、うん!



体が凄い敏感に
なっちゃってしまってるわ♡



さっき膣中で
出されたばっかだから♡





はあっ…
咲夜さん

ふああ

ああああ
いいわあ♥

また来てるう♥
癖になるうう♥

私がここまで
爛れるなんて♥

ああ♥



咲夜さんの

おまんこの
締め付けが凄い!

やだ私…
体が言葉に反応しちゃう♥

あっ♥

あっ♥

あっ♥

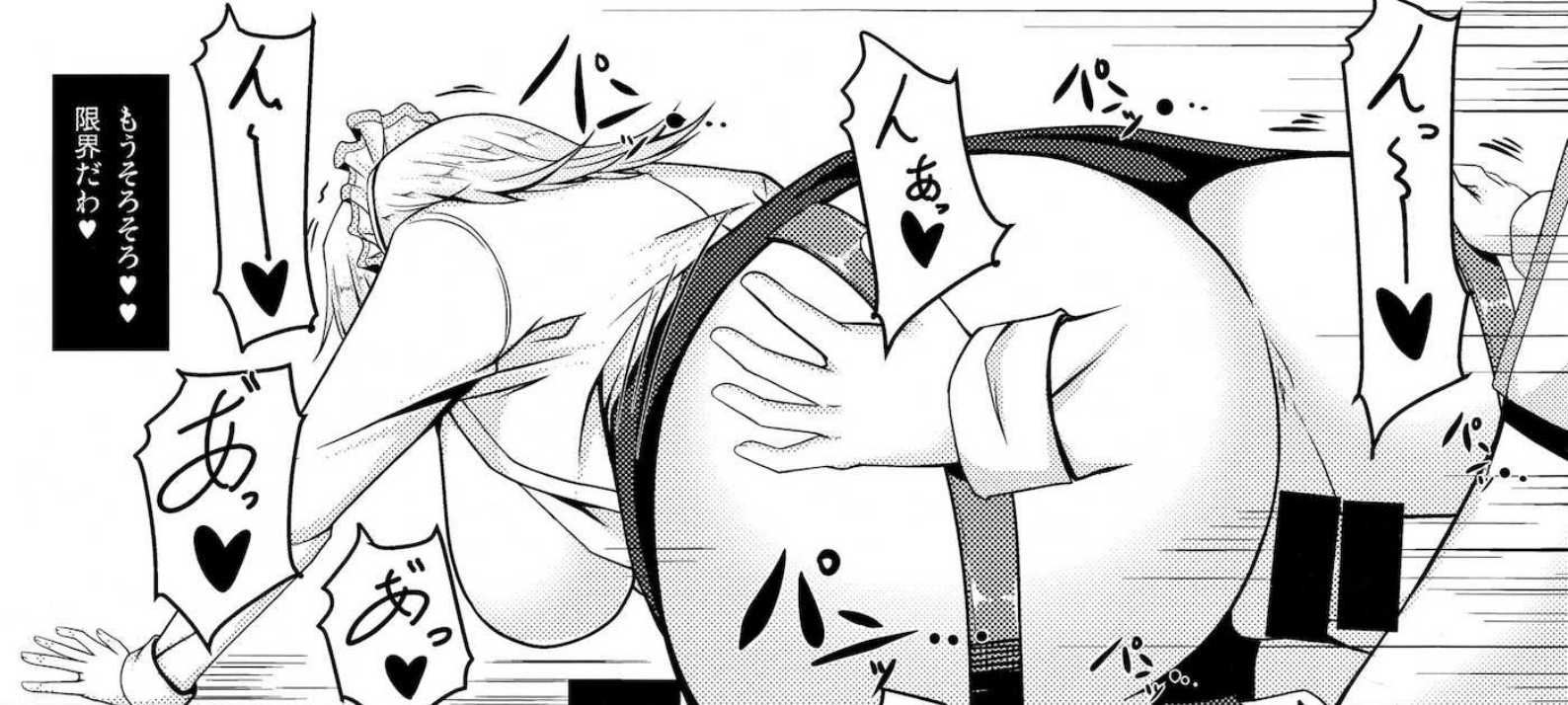


キゅ♥

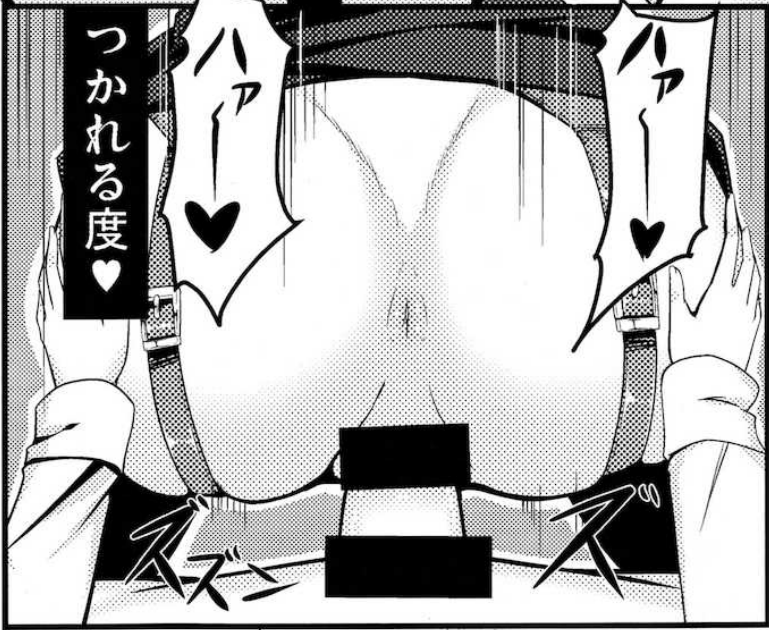
キゅ♥

ズズ♥

もうそろそろ♡♡♡
限界だわ♡



体にヘイストが溜まっていく♡



つかれる度♡



駄目え♡
もうイキそう♡







くるうう!
くるううう♡



は、はい!

ふふ♡
いいですよ

それよりも、
疲れたでしょう?

明日も早いのですから
早めにお休みになりなさい

咲夜さん…
ごめんなさい
僕…調子にのって…

ハア…
ハア…
ハア…



なかなか立派じゃない

ええ、
里の職人に頼みました

そう

…私に時間の感覚はないけど
彼は館に居た時間は長かったと思うわ

そうでしたね…



ごほん…

小さい体でよく
紅魔館に尽くしてくれた

願わくばその魂が天上にて安らぎを
得らんことをと言いたいとこだが

悪魔に仕えたに汝に
天上の門は開かれない

故に、
世界が終焉を迎える最後の日まで
この館の敷地で眠る我が家臣たちと同じく
ここで眠ることを許す

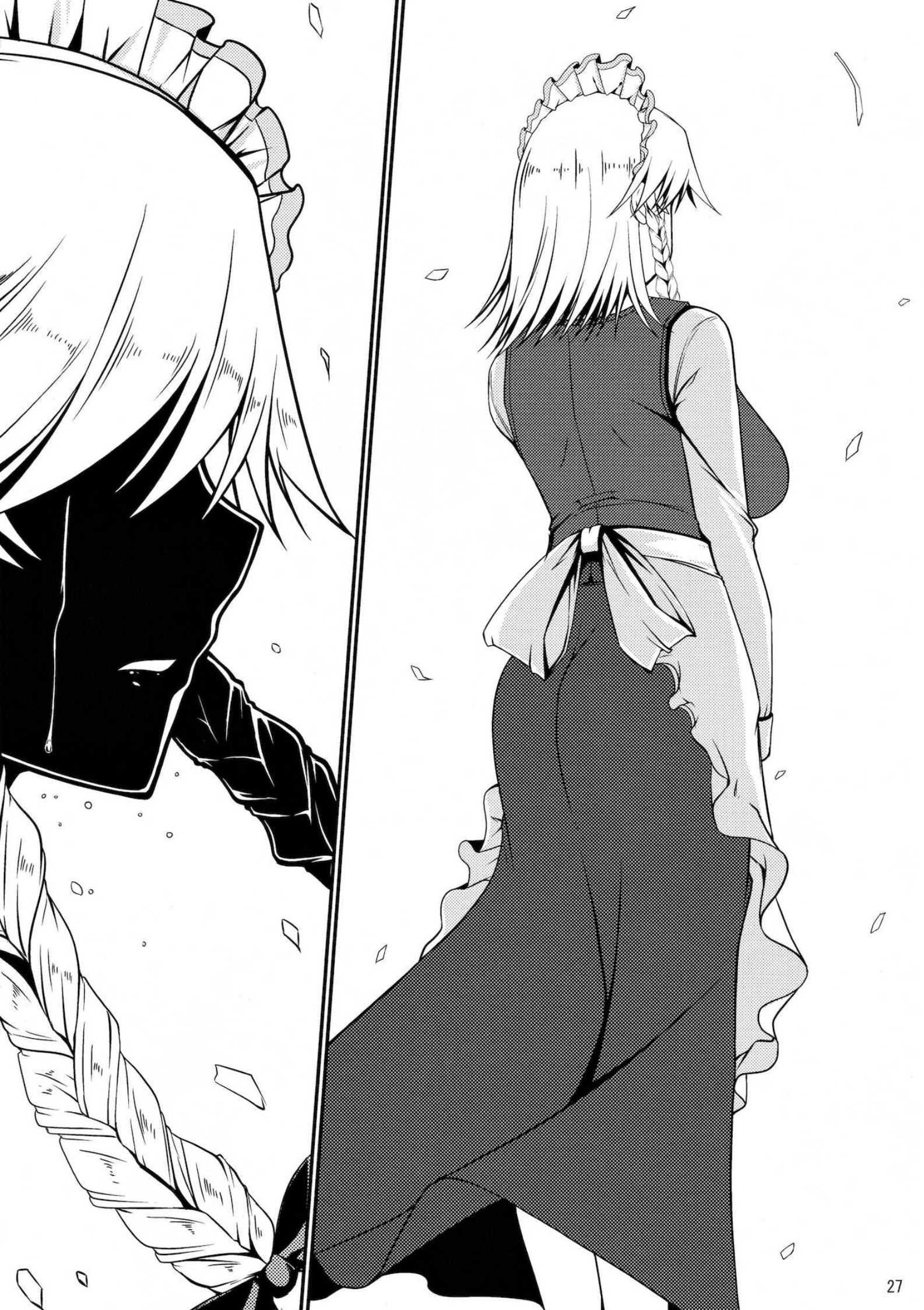
眠れ…

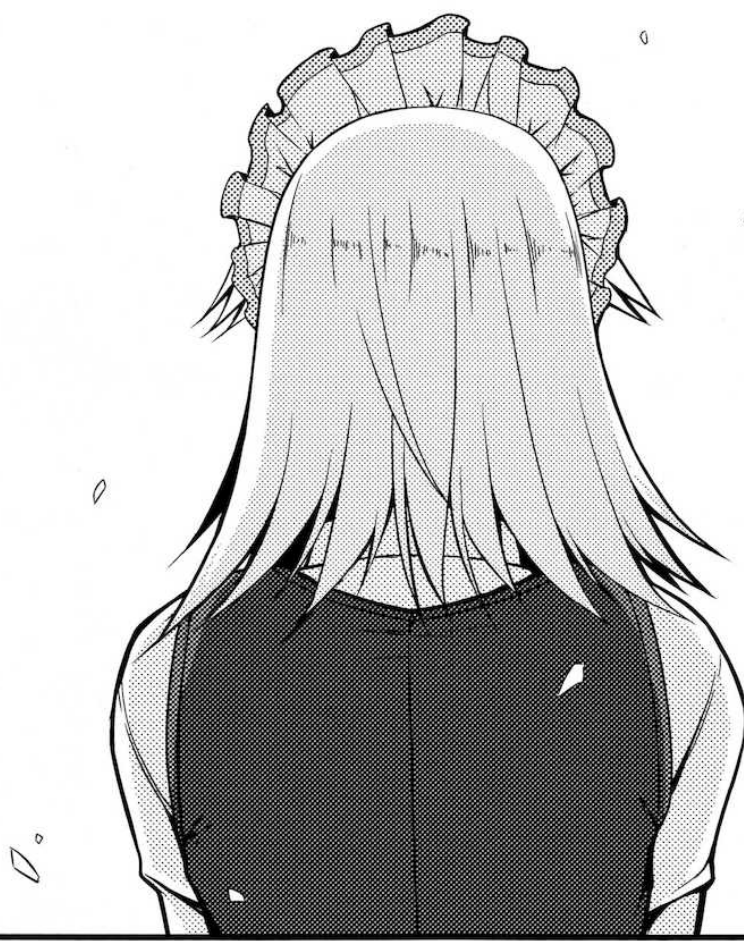
安らかに…

さて、私は先に
帰るわ

咲夜

夜はカレー
にしたいわ
里行って
材料買ってきて

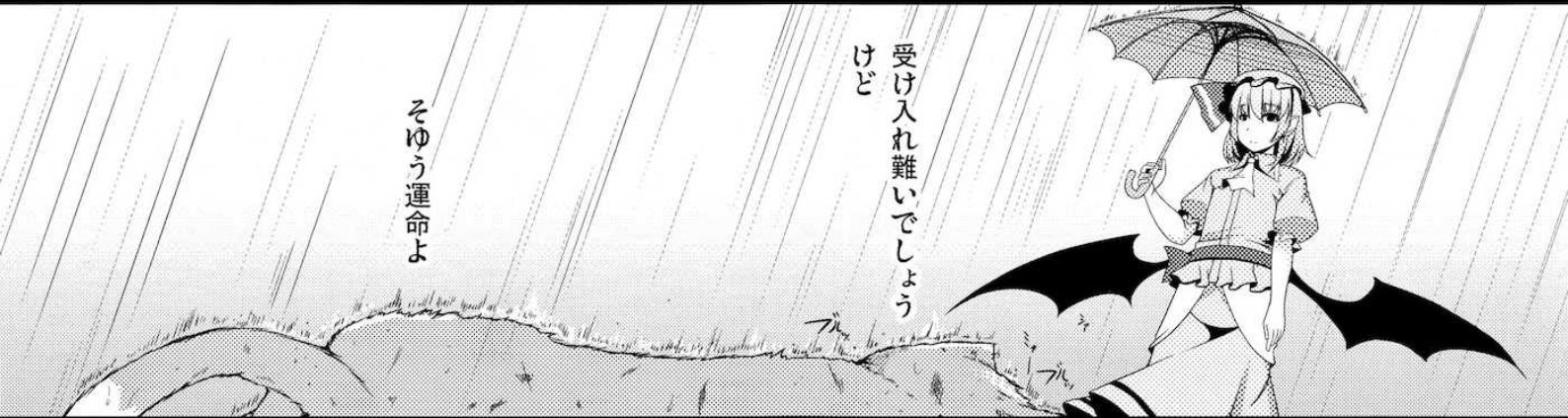






あら？あら？
こんな良い天気なのに
貴方大変そうね

そうね、貴方…
間もなく死ぬわ



受け入れ難いでしょう
けど

そゆう運命よ



でも貴方ツイてるわ

私は 死を告げる天使
じゃないわ

悪魔よ

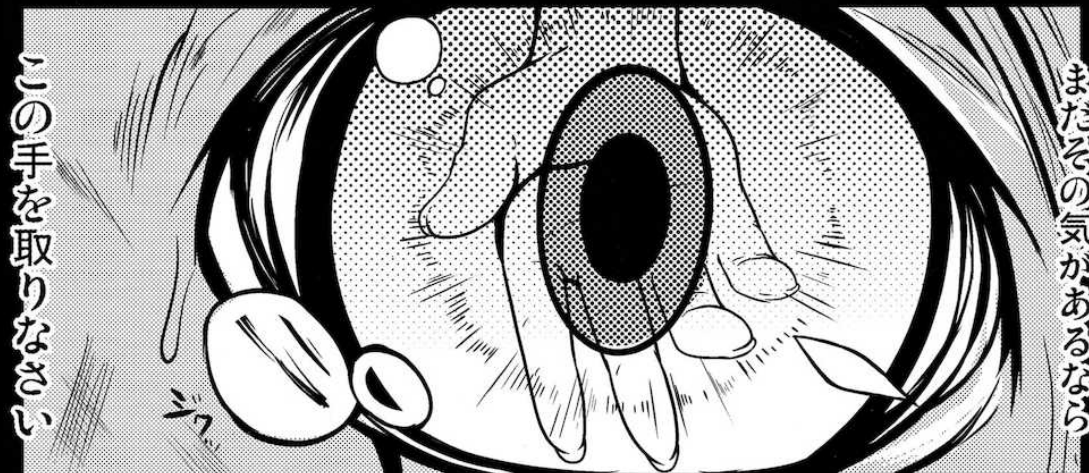


どうかしら？

その残りの持ち時間で
私の館にこない？

まじり…

賑やかよ
私の家族たちは



まだその気があるなら

この手を取りなさい

歓迎するわ



発行■barista

発行日■コミックマーケット85

印刷■ねこのしっぽ

URL■<http://barista.x.fc2.com/>

未成年の閲覧、無断転写を固く禁じます